

「かわいいそう」が招いた 多頭飼育崩壊

多頭飼育崩壊とは？

初めは1匹だったペットが2匹以上となり、去勢手術をしないといったことなどが原因で無秩序に増え続け、結果として飼育できる数を超え、飼い主が適正に飼育できなくなってしまう状態を多頭飼育崩壊と呼びます。多くの場合、十分な世話がされておらず、不衛生な環境で多数のペットが飼育されている状態にあることが多いと言われています。

「かわいいそう」が招いた
多頭飼育崩壊

佐呂間町内で発生した多頭飼育崩壊は、約20年前に飼い主さんの自宅近くに捨てられた犬が「かわいいそう」「殺したくない」との思いで飼い始め、そこから始まりました。しかし、動物病院へ行く時間や費用がかかることを理由に遊覧手術や去勢手術をしなかったため、どんどん頭数が増えていきました。頭数が増えるにつれ、当初は満足していたエサをあげることができなくなり、糞尿場所なども不足し、糞尿がそのままとなっている状態となっていました。

◎遊覧去勢手術事業実施報告

町内で発生した犬の多頭飼育の対策として、動物愛護団体と連携し、公益財団法人どうぶつ基金の行政特許に登録して遊覧去勢手術事業を行いました。当事業の実施に伴い、出張手術の支援を決定していただきました。どうぶつ基金をはじめ、手術に協力していただきました関係団体、個人の皆様にお礼申し上げます。

◆実施日

6月26日(日)〜6月30日(金)

◆参加機関等

公益財団法人どうぶつ基金

犬のM基金

個人ボランティア

オホーツク獣医師会

オホーツク総合振興局

佐呂間町農業協同組合

佐呂間町

旧米保育所

(佐呂間町米3番地の27)

◆実施頭数

オス36頭 メス40頭(うち妊娠6頭)

計 76頭

◎新しい飼い主を探しています

多頭飼育対策として実施した遊覧去勢手術事業で手術を受けた犬たちは、現在は自宅で、ボランティアの援助を得ながら飼育されておりますが、継続して飼育することが困難なため、新しい飼い主を探しています。犬を飼いたい方は、町民課生活環境係(☎2・1213)までご連絡願います。

なお、人に対して強い警戒心がありますので、新しい飼い主との生活に慣れるまでは時間を要するものと思われまます。あらかじめご了承ください。

また、犬を譲り渡すことができるのは、愛情を持って、適正に終生飼育することが可能な方となりますので、ご家族ともご相談の上、よくお考えの上でご連絡ください。

◎犬たちへ支援のお願い

譲渡が完了するまで、犬たちはボランティアの援助を受けながら自宅で飼育されていますが、えさなどの物的支援の他、えさやりや水やりなどのお世話を必要としています。支援にご協力いただける方は、左記へお申し込みください。

◆えさ(ドッグフード)の送付先

佐呂間町字永代町3番地の1

佐呂間町役場町民課生活環境係

◆寄付のお申し出

北星信用金庫下川支店

普通預金10411947

佐呂間多頭飼育問題解決グループ

◆犬のお世話のお申し出

佐呂間多頭飼育問題解決グループ

☎ saromato@gmail.com

詳細は「佐呂間多頭飼育問題解決グループ」FacebookまたはInstagramをご覧ください。

犬や猫などペットを飼うことは、その動物の命を預かることです。飼い主には、ペットを最後まで飼いつける責任があります。飼いだめたペットはもろろんのこと、産んだ子を育てる責任もありま。繁殖を望まない場合は、すみやかに遊覧去勢手術をするなど、動物が健康で快適に暮らせるようにし、人も動物も幸せに暮らすために飼い主の責任をしっかりと果たすようにしましょう。

社会の中には動物が苦手な人もいます。ペットが人に危害を加えたり、鳴き声などで近隣に迷惑をかけたたりしないよう、種類に応じてしつけや訓練をしましょう。

またペットの排せつ物を公共の場に放置することは、誰もが不快に感じただけでなく衛生上も問題がありますので絶対にやめましょう。

ルールやマナーを守り、社会や近隣に迷惑をかけないように責任を持って飼育しましょう。

多頭飼育の問題は、飼い主だけで解決することが難しい場合があります。身の回りの方々に、お気づきの点がありましたら、すぐに役場町民課生活環境係(☎2・1213)へご相談ください。

